

新型インフルエンザが県下で発生 町内の各小中学校も5月18日から一週間休校

新型インフルエンザが5月に県下で発生しました。厚生労働省の新型インフルエンザ対策のマニュアルに従って、兵庫県でも小学校・中学校・高等学校等で一週間学校が閉鎖され、中学校では修学旅行が延期になりました。

従来、新型インフルエンザは強い毒性があり、その為に、県下で一人でも発生したら休校すると言っていました。今回の新型インフルエンザは弱毒性で、普通のインフルエンザと同程度の症状でした。しかし、弱毒性であっても強毒性に変異することもあるので、国は強毒性の新型インフルエンザの対応を行ってきました。町当局も国や県の指示に従わなければならないので、町内の各小中学校とも休校の運びとなりました。

さて、子どもたちには外にでないように指示しましたので、その一週間はぜひ退屈だったことと思います。本来なら、魚釣りをしたり、山に登ったり、ハイキングをしたり、いろいろと考えて有意義にすごせたらいいのですが、宿題をしたり読書をしたり、他にはテレビを見たり、ゲーム機等で遊んだことと思います。もし、これが東京で発生していたら大阪府や兵庫県と同じような対応ができたのだろうか？と思います。

学習の一週間の遅れを取り戻すために考えられることは、放課後を授業時間に活用することですが、現在は水曜日を除いてどの日も6時間授業です。7時間目を授業に振り向けることはさぶる困難です。次に考えられることは夏休みの短縮ですが、暑いさなかに授業をすることには抵抗があります。学校行事をできるだけ割愛して授業に振り向けることも可能ですが、楽しい学校行事をなくすことは好ましいことではありません。結局、今後の授業を更に充実させて、また、夏季休業中に毎年行っている水泳教室や補充学習に来ることで、遅れを取り戻すしかありません。また、自然学校等で5年生は一週間授業ができませんが、ご理解ご協力を宜しくお願いします。

話は代わりますが、給食の時に長谷に生えている植物を一日一つずつ紹介しています。これまでにタニウツギ・ヤブデマリ・フジ・ヘビイチゴ・クサノオオ・ウツギ等を紹介してきました。保護者の方で子どもたちに「これは何の花かしら？」と尋ねてもらえれば、知っている草花は教えてくれると思いますが、たぶん忘れていると思います。でも、「この花はきれいね。」と言ってもらえれば、子どもも花の名前は分からなくても「きれいね。」と会話ができると思います。親が「きれいね。」と言うことで、子ども野の草花が「きれい」とか「かわいい」とか草花に近親感を持つことと思います。そういうところから豊かな心を育てる一歩になればと考えますのでよろしくお願いします。

また、保護者の中で、この草花の名前を知りたいと思われたら、お子様に持たせてください。分かる範囲で調べてお答えします。図鑑を見て、すぐに名前が分かるようになればいいのですが、なかなかそうもいきません。詳しい人に尋ねてお答えします。